

担当教員 横山廣子	Instructor Name YOKOYAMA Hiroko			
開講期 前期	Class Starts at 1 st Semester	開講期間 半期	Period One Semester	対象年次 / Suggested Grade 3,4,5
科目コード / Subject Code 20DRSa02		単位 / Credit 2		
科目名称： 東アジア文化研究特論 I				
Subject: Proseminar I (East Asian Studies)				
授業概要： 中国と周辺アジアにおける文化と社会／講義ならびに演習形式の授業 Culture and Society in China and Its Surrounding Asian Countries 当該社会の社会組織、宗教と儀礼（年中儀礼ならびに人生儀礼など）の概況、エスニシティと国家統合政策などを講義と議論の対象とする。				
教育目標・目的： 中国やその周辺のアジア各地の社会と文化について、伝統的なあり方と近年の変化の両面を人類学的視点から分析する。複数の社会や文化の比較を通して、それをどのようなアプローチによって人類学的に研究しうるかについて、具体的な研究事例を通して考える。また、人類学において研究データを得るための基本的手段であるフィールドワークにかかわる諸問題についても検討する。 事例としては、中国とその周辺のアジア各地の事例を取り上げるが、目標とするところは、人類学的研究方法や理論に対する理解と習熟にあり、履修者の研究状況に応じて、その他の地域の事例を取り上げる可能性もある。 近年の中国やその周辺のアジア諸国では、目覚ましい経済発展とともに、そのひずみも存在し、社会的・文化的な諸課題がある。それらに対する認識と理解を深め、それらを対象に研究する視角について学ぶのが、この授業の目標である。				
授業計画： 最初に、中国やその周辺のアジア諸国の伝統的な社会や文化について、これまでの文化人類学における先行研究を取り上げながら、講義を通して、基本的理解を深める。次に履修者の研究対象を考慮しながら、本授業において全員で講読し、議論をする研究文献を決定する。各履修者が担当する文献を決め、演習形式で、文献内容に関する発表と全員での討論をおこなう。講義においても、履修者の議論を多く求め、また演習形式の授業においては、必要に応じて、理論的な補充のための講義を交える予定である。 授業日時 第2回目以降は、毎週金曜 15:00～16:30 の予定。但し、2回目以降の授業の日時は、履修生との協議により調整し、変更することもある。第1回目の授業は、4月25日（火）15:00～16:30。 授業内容予定（番号はコマ単位での授業時間の目安）				

<p>(1) イントロダクション (講義)</p> <p>(2)~(3) アジア地域の社会組織 (講義)</p> <p>(4) アジア地域の宗教と儀礼</p> <p>(5) アジアにおける民族の多様性と国家統合</p> <p>(6)~(15) アジア各地の事例と分析 (演習)</p>
<p>成績評価：</p> <p>レポート (50%) および授業中の質疑応答、議論への参加 (50%) に基づいて成績を評価する。問題を十分に理解し、根拠に基づいて適切な考察がなされているかを評価基準とする。</p>
<p>実施場所：</p> <p>国立民族学博物館・本館 4 階演習室</p>
<p>使用言語：</p> <p>日本語 (基本的には日本語を使用するが、履修者の状況に応じて、英語あるいは中国語で補う)</p>
<p>教科書・参考書：</p> <p>特になし。</p> <p>第一回目の授業で、関係文献を紹介し、その後は授業で、その都度、提示する</p>
<p>備考：</p> <p>地域文化学専攻・比較文化学専攻の学生のみ履修可</p>